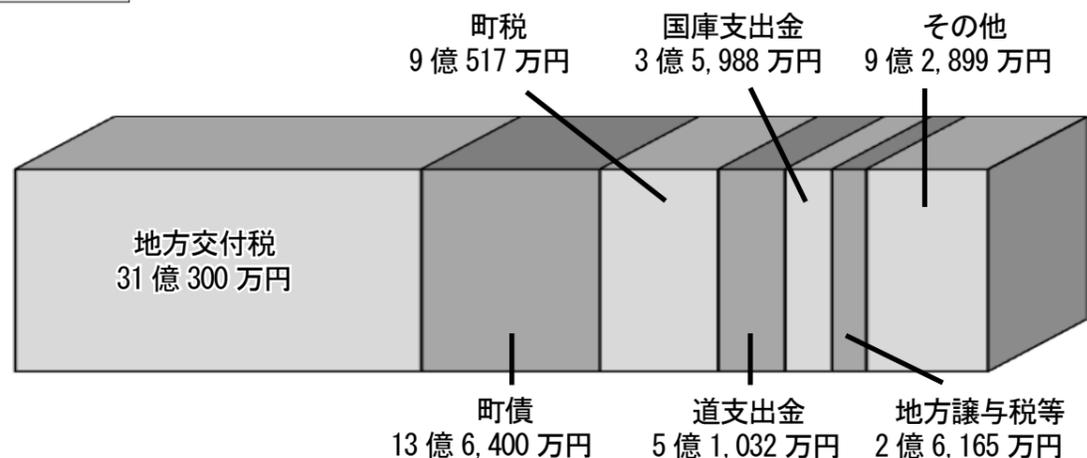


一般会計予算の内訳

歳入



主な収入 ()は前年度比

地方交付税
31億300万円
(+1億2,700万円)

※人口や税収などに応じて国から交付されるお金

町債
13億6,400万円
(+5億4,665万円)

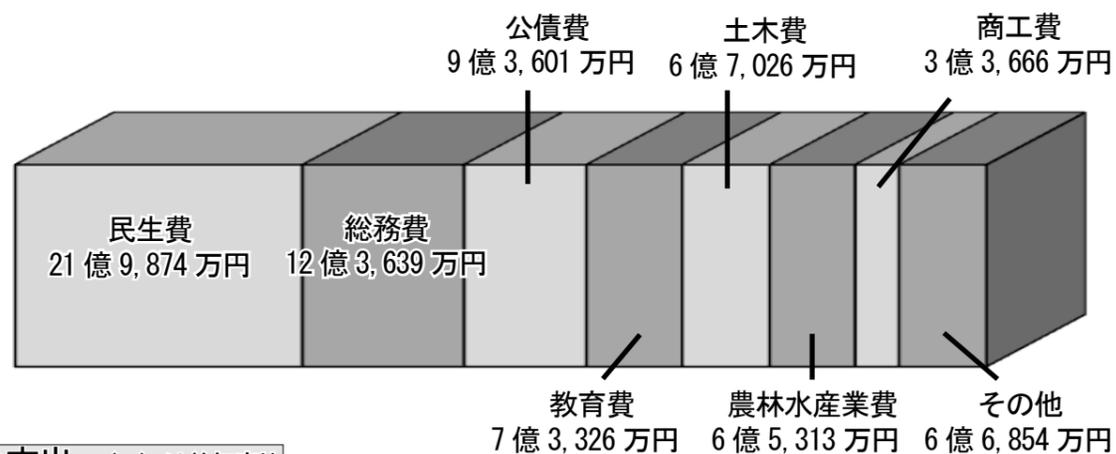
※大きな事業を行う時の資金不足を補うとともに世代間負担の平等化を図るために借り入れるお金

老人ホーム29床整備 7億円
リバーサイド整備 8420万円
狩勝高原園地整備 6000万円 などで借入れ予定

町税
9億517万円
(-137万円)

※町民のみなさんから町に納めていただく税金

歳出



主な支出 ()は前年度比

民生費
21億9,874万円
(+1億8,276万円)

子育てや福祉などにかかるお金。地域密着型特別養護老人ホーム整備事業への補助金や屈足保育園改築設計費用などにより増えました。

教育費
7億3,326万円
(+1億1,535万円)

教育やスポーツ・文化振興などにかかるお金。サホロリバーサイド運動広場拡張整備工事費用などにより増えました。

農林水産業費
6億5,313万円
(+2億829万円)

農業や林業の振興、土地改良などにかかるお金。シントクアユミルクへの資金貸付や農業基盤整備事業の委託費用などにより増えました。

予算で見る

まちのお金の使いみち

平成28年度予算が3月の定例町議会で決まりました。この予算に基づき、さまざまなまちの仕事が行われます。今回はその内容についてお知らせします。

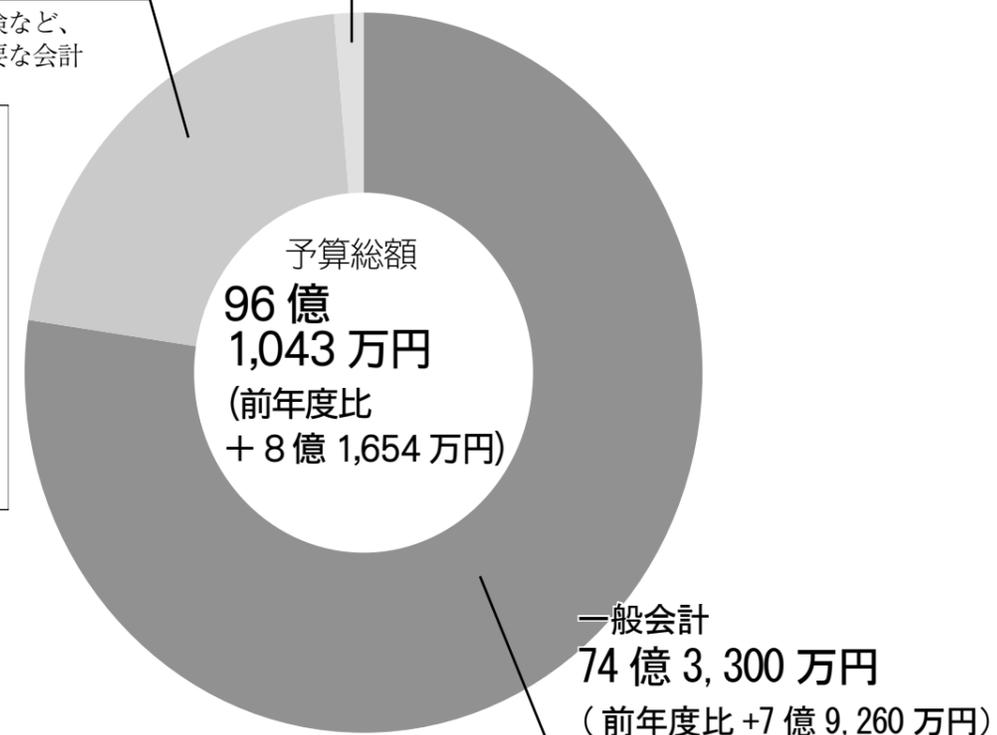
特別会計
20億4,355万円
(前年度比+2,894万円)

国民健康保険や介護保険など、一般会計とは区別が必要な会計

- 「特別会計の内訳」
- ・国民健康保険事業 9億3,261万円
 - ・後期高齢者医療 9,268万円
 - ・介護保険 6億9,679万円
 - ・簡易水道事業 6,942万円
 - ・公共下水道事業 2億5,204万円

水道事業会計
1億3,389万円
(前年度比-500万円)

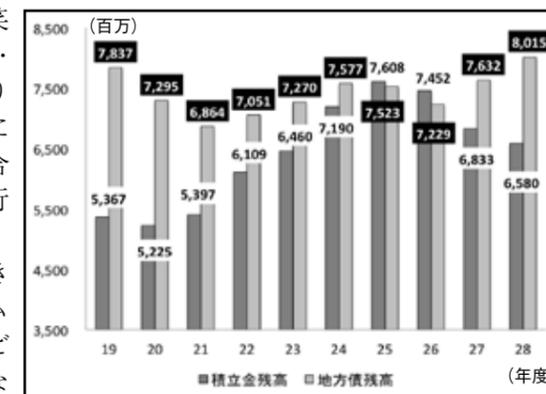
水道事業として料金収入を基に独立して運営している会計



予算の概要

平成28年度予算編成は、今後の町づくりの基本となる第8期総合計画の初年度を迎えメインテーマである「人が集い賑わいと笑顔が広がり未来につながるまち」を目指して、「活性化」・「安心・安全」・「協働」・「人づくり」の4つの重点事業を中心にした取り組みと町長公約に掲げる「15の重点施策」の実現に向けた事業について予算化をしています。また、まち・ひと・しごと創生総合戦略と連動し、人口対策（雇用対策）等に積極的な予算措置を行っています。

一般会計は、浜田町政としては当初予算の計上額が最も大きい予算となりました。これは、地域密着型特別養護老人ホーム29床整備事業やサホロリバーサイド運動広場拡張整備事業などの大型事業を盛り込んだことが大きな要因となっています。なお、この予算編成の結果、地方債残高（町の借金）は前年度から3億8千万円ほど増える見込みで、積立金残高は2億5千万円ほど減る見込みとなっています。



※平成27年度、平成28年度の値は見込み
※地方債残高（白文字）は、一般会計+特別会計の金額